

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自律…自ら考え、判断し、行動する ・ 尊重…違いを理解し、他者を尊重する ・ 創造…他者と協働しながら新たな価値を創造する 	経営理念	人間尊重と生徒、保護者及び地域との信頼を基盤として、持続可能な社会の創造者・開拓者を育成する。
--------	---	------	---

評価計画						自己評価				学校関係者評価 (学校運営協議会による評価)		改善方策				
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値		達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方策		
							月	月								
生徒が自律的に活動する学校	1	安心・安全な環境の中で、関わり合いやつながりを大切に、豊かな人間性や社会性を育む	・豊かな人間性や社会性を育む	・特別活動における「話し合い活動」の研究及び実践	①「生徒が教えあったり、話し合ったりする学び合いの場を設定している」の肯定的な割合	100%										
				・生徒会による行事の運営の充実及び活性化	②「学校行事、生徒会行事に満足している」の肯定的評価の割合	85%										
				・キャリア教育の充実	③「卒業後の進路や将来の職業について考えている」の肯定的な評価の割合	80%										
			・問題行動・不登校の未然防止や解決に向けた取組を充実させる	・SSRの充実 生徒指導サポート実践校事業の取組の推進	④月毎に教職員が会えない生徒数	毎月2人以内										
				・SC及びび心のサポーターと連携した教育相談の実施	⑤教育相談の実施回数	年4回実施										
				・QUの実施、分析	⑥QU分析結果(学級不満足群)	10%未満										
資質・能力を育む学校	2	生徒一人一人の自己実現に向け、資質・能力を確実に育成する	・授業改善への取組の充実	・質の高い「問い」の設定	⑦「単元を通した「問い」や個別の「問い」をもとに、課題設定・解決・表現・振り返りの過程があるように単元を構成している」の肯定的な評価の割合	90%										
				・ICT機器の活用	⑧「授業でPC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用した」の肯定的な評価の割合	80%										
				・校外の研修や研究会に参加及び教育センター専門講座の受講	⑨校外研修を受講した教員の割合	月1回										
				・「対話」を促す研究デザインを取り入れた授業の実施	⑩「生徒が生徒同士や生徒と教師などの対話を通して学べるように指導している」の肯定的な評価の割合	90%										
			・カリキュラム・マネジメントの充実	・確かな学力の定着	⑪全国学力・学習状況調査、NRT等の結果	市平均以上										
				・単元テストの実施及び振り返りの充実	⑫「生徒が書いた単元テストの振り返りをもとに、生徒に指導・助言している」の肯定的な割合	80%										
				・単元構想を考える。	⑬新しい単元に入る前には、単元を通した「問い」や個別の「問い」を立てている割合	90%										
				・学習評価の在り方の研修	⑭学習評価に関する校内研修を行い、評価の適正化を計る。	年2回実施										
信頼される学校	3	先見性と一貫性があり、保護者・地域から信頼がられる	・働き方改革への取組	・市民ポータルサイトへの登録・活用の促進	⑮市民ポータルサイトへの登録状況及び活用状況	100%										
				・仕事の仕方改革に取り組む	⑯在校等時間のうち超過勤務時間を前年度より減少させる。	前年度比2割減										
			・令和6年度開始に向けたコミュニティスクールへの取組	⑰学校評価委員会及び学校関係者評価委員会にて検討を重ねる	⑰学校評価結果の分析・対策	年3回実施										

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。

達成値/目標値を百分率で表示す

■自己評価
 4...目標を上回って達成 3...目標どおりに達成
 2...目標をやや下回って達成 1...目標をかなり下回って達成

■学校関係者評価 (学校運営協議会による評価)
 A...とても適切である B...概ね適切である
 C...あまり適切でない D...全く適切でない
 (N...判定できない)